

村山市の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

- ・地域全体の課題は、少子化により団体種目で学校単位でチーム編成ができない状況が増えている。学校規模縮小に伴い、部活動数の整理が必要となってきており、生徒が好きな種目を選択できない。
- ・令和6年度からパイロット事業等の実績を積み上げ、今年度当初段階で4競技の地域展開が実施されている。
- ・地域展開を進める上で、学校部活動の補完するイメージが強い傾向にあるため、学校単位によらない活動や部活動以外の種目にチャレンジできる機会の提供や保障が課題である。

地域クラブ活動等の概要

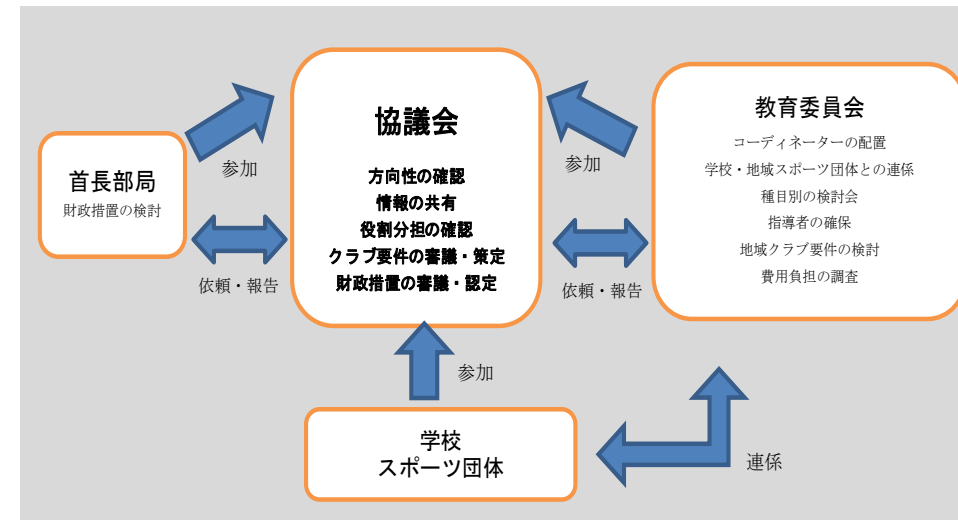
中学校数	2校	全生徒数	447人
域内の部活動数	22部	実施した地域クラブ数	4クラブ
全体の指導者数	各クラブ 2～15人程度	全体の運営スタッフ数	各クラブ1～3人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ スポーツ少年団		
主な種目	バレーボール 陸上 サッカー 新体操		
平均的な活動回数	週3～4回程度	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	各クラブによる	主な活動場所	市内小中学校 市内外運動施設

〈R6年度末データ〉

地域展開関連の取組・成果

- ・昨年度からパイロット事業等先行実施している地域クラブが、収支等を含めたマネジメントがきちんとなされており、順調に活動を行っている。
- ・村山市を拠点する4つの地域クラブでは、本市以外の中学校に在籍している生徒も活動に参加している一方、本市で開設していない競技では、他市町の地域クラブで活動するなど、広域化が進んでいる。
- ・複数の競技で、来年度からの中体連への地域クラブへの登録も含めて、中学生の受け入れ準備が進んでいる。
- ・設置部活動以外の競技についても競技団体との検討を始めた。

運営体制図・ロードマップ (自治体独自)



【村山市】の部活動改革の取組み

活 動 の 様 子 (R6～)



【視察研修（情報交換場面）】



【クラブ活動の様子（サッカー）】

他に
協議会・種目別検討会等の
情報交換の機会を設定して
います。



【指導者講習会兼実技指導講習会（実技指導研修場面）】



【指導者講習会兼実技指導講習会（講義場面）】